

U.S. Indicators

米国 国内需要主導で底打ち、先行きの改善も示唆(16年2月ISM製造業景気指数)

発表日：2016年3月1日(火)

～海外需要は一段と悪化し回復ペースを抑制～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM製造業景気指数の推移

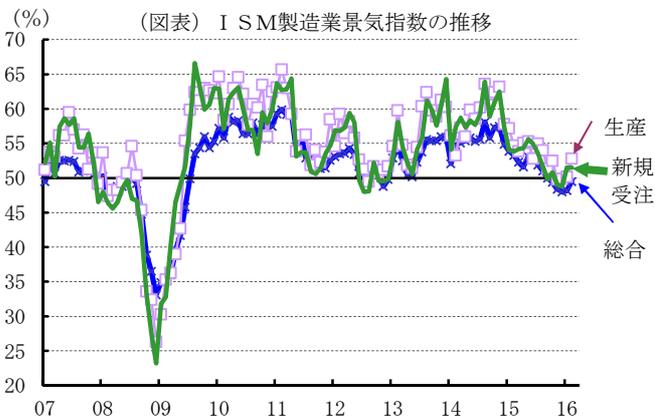
	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
15/05	53.1	55.6	55.3	52.1	51.5	50.9	53.5	49.5	50.0	55.0
15/06	53.1	54.9	52.8	55.3	53.0	49.6	47.0	49.5	49.5	53.5
15/07	51.9	53.6	55.0	51.9	49.5	49.3	42.5	44.0	48.0	52.0
15/08	51.0	51.7	54.0	50.5	48.5	50.4	46.5	39.0	46.5	51.5
15/09	50.0	49.8	51.4	50.2	48.5	49.9	41.5	38.0	46.5	50.5
15/10	49.4	50.8	52.5	47.7	46.5	49.7	42.5	39.0	47.5	47.0
15/11	48.4	49.0	49.8	50.8	43.0	49.6	43.0	35.5	47.5	49.0
15/12	48.0	48.8	49.9	48.0	43.5	49.8	41.0	33.5	51.0	45.5
16/01	48.2	51.5	50.2	45.9	43.5	50.0	43.0	33.5	47.0	51.0
16/02	49.5	51.5	52.8	48.5	45.0	49.7	48.5	38.5	46.5	49.0

(出所) ISM : the Institute for Supply Management

15年2月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、49.5と前月比1.3%ポイント上昇し、市場予想を上回った(市場予想中央値48.5、当社予想48.6)。5ヵ月連続で拡大縮小の分岐点を下回り、製造業部門が縮小を続けたことが示されたものの、2ヵ月連続で前月の水準を上回った。米製造業はドル高、原油価格下落、世界的な需要鈍化の影響を受け、在庫調整を続けているが、国内需要の拡大を背景に底打ちしたと判断される。

総合指数への構成項目別の寄与度をみると、入荷遅延(前月比▲0.06%p)が押し下げ寄与となった一方、生産(前月比+0.52%p)、雇用(前月比+0.52%p)、在庫(前月比+0.30%p)が押し上げ寄与となったほか、新規受注(前月比0.00%p)が変わらずとなり、総合指数は前月比1.3%ポイント上昇した。輸出受注がさらに悪化するなど製造業の調整を長引かせているものの、国内需要の拡大を波形に生産が前月から大幅に改善したうえ、新規受注も拡大を示す50を2ヵ月連続で上回っており、調整の進展と今後の改善がうかがわれる。

拡大した業種数が縮小した業種数を6ヵ月ぶりに上回り、製造業部門の底打ちを示している。全18業種で拡大した業種は繊維、木材製品、家具・同関連、その他製造業、電気設備・部品、食品・飲料・タバコ、化学製品、一次金属、紙製品の9業種(前月8業種)に増加した一方、縮小した業種はアパレル、石油・石炭、コンピューター・電子機器、印刷・関連サポート活動、輸送機器、プラスチック・ゴム、加工金属の7業種(10業種)と減少した。一般機械、非鉄は変わらずとなった。



(出所) ISMデータより当社加工

石油・ガス部門では、低い原油価格や活動の減少の影響を引き続き受けていると指摘された。また、食品・飲料はまだ少し弱いと報告された。一方で、化学は海外需要が弱いが需要全体は堅調と指摘したほか、加工金属は売上が良くなる兆しがみられること、輸送機器は航空会社が航空機や予備の部品をまだ発注していること、木材製品は春のシーズンに向けて上向き始めていること、家具・同関連は予想を上回る受注があること、一般機械は非常に強い需要があること、その他製造業は世界経済の減速や原油価格下落の影響はみられず売上予測が変わらないこと等を報告した。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。